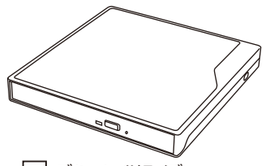
LDR-PME8U3H シリーズ／LDR-PME8U2H シリーズ
USB 3.0/2.0 DVDドライブ セットアップガイド①

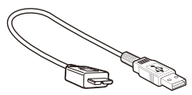
本セットアップガイドは、両面印刷です。裏面も保証書など大切な記載があります。裏面も必ずご確認ください。

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本セットアップガイドでは、本製品をパソコンに接続する方法についてや、ご使用にあたってお守りいただきたい事項について、ご説明させていただいております。必ず別紙の「安全上のご注意」をご確認の上、付属の「SoftwarePack」CD-ROM内のオンラインマニュアルとあわせてご活用ください。

同梱品の確認 はじめに箱の中に以下のものがあることを確認してください。



☐ ブルーレイドライブ



☐ USBケーブル　1本

☐ CD-ROM　1枚　1台
（SoftwarePack）

☐ 安全上の注意
お問い合わせについて

☑ セットアップガイド①②

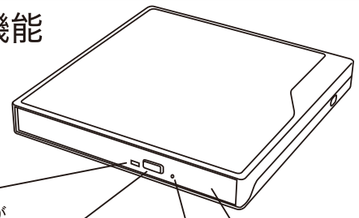
※「SoftwarePack」CD-ROMには、本製品を使用してDVD/CDディスクへ書き込みを行うためのソフトウェアが含まれています。

※製品/付属品のイラストは実際の製品と異なる場合があります。

※パソコンのUSBポートの電力供給が不足している場合は、別売りACアダプター「LA-10W5S-08」をご購入ください。

各部の名称と機能

前面部



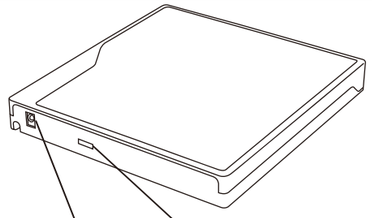
アクセス表示ランプ
本製品に対してアクセスが行われると点灯します。

イジェクトボタン
トレイの取り外しに使用します。

トレイ
ディスクをセットする部分です。

強制イジェクトホール
「強制イジェクトホールを使用した取り外しについて」をご参照ください。

背面部

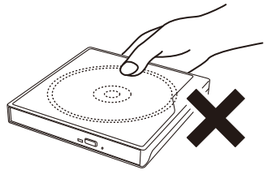


マイクロUSB3.0コネクタ
付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。

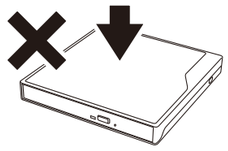
電源コネクタ
USBケーブルの電源だけで動作しない場合は、別売りのACアダプタのプラグを接続します。

使用上の注意

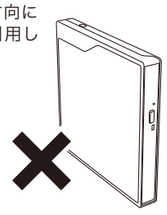
●本製品にディスクを入れたまま移動したり、傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。



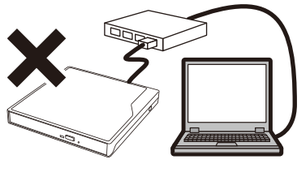
●下図の矢印の箇所を強く押さないでください。トレイが閉まらなくなります。また、変形して故障の原因になる場合があります。



●必ず水平方向に設置して利用してください。



●パソコンのUSBポートへ直接接続して下さい。



パソコンからの取り外しについて

本製品を取り外す時は、本製品内に保存されているデータファイルが開かれていないこと、本製品へアクセスが行われていないことを確認してください。万一、本製品へのアクセス中やデータファイルが開かれている状態で取り外しを行うと、本製品内のデータが破壊・損失する恐れがありますので、絶対におやめください。

①ディスクのイジェクトを実行後、タスクトレイ上の「取り外し」のアイコンをクリックしてください。
②本製品を取り外す項目（下図参照）が表示されるので、これをクリックしてください。

（Windows7, Windows Vista の場合）

クリック

③「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示 されたら、USB ケーブルを外してください。

■ 取り外しの際に表示されるメッセージ

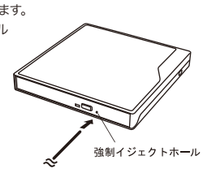
Windows XP の場合「USB大容量記憶装置デバイス-ドライブ(*)を安全に取り外します。」
Windows7 の場合　本製品へアクセスしていないことを「アクセス表示ランプ」で確認して本製品を取り外して下さい。
（パソコンの操作は必要ありません）

強制イジェクトホールを使用した取り外しについて

何らかの理由でDVD/CDディスクの取り出しができなくなったときは、強制的にトレイを排出させることができます。

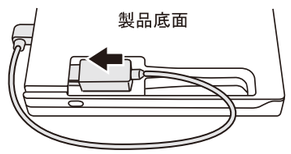
注意：必ず通電してない状態で行ってください。通電した状態で行うと故障の原因になります。

1. 本製品からUSBケーブル、ACアダプタを取り外します。
2. 通電していないことを確認し、強制イジェクトホールへ細い棒を挿し込みます。
（伸ばしたクリップをご利用ください）
3. 強く押すとトレイが排出されます。
※何かがひっかかり排出されない場合は修理をご依頼ください。
4. DVD/CDディスクを取り出し、トレイを閉めます。

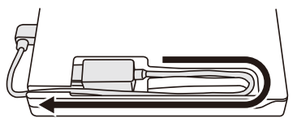


USBケーブルの収納方法

●パソコンから外したUSBコネクタを底面の収納部に差し込みます。



●ケーブルを順に収納します。



対応パソコン　■DOS/Vパソコン

動作環境

■ネットワークダビングする場合

●Windows 7 (64/32bit)/Vista(64/32bit)
●Windows XP　SP3　32bit
CPU：Intel Core 2 Duo E4600 2.40GHz
AMD Athlon　64 X2 4800+ 2.4GHz
メモリ：1GB以上
ハードディスク空き容量：100MB以上
ネットワーク環境：100BAse-T以上または
Wi-Fi　IEEE802.11g/11n

■DVD再生、書き込みの場合

●Windows 7 (64/32bit)/Vista(64/32bit)
●Windows XP　SP3　32bit
CPU：Intel Core 2 Duo E4600 2.40GHz
AMD Athlon　64 X2 4800+ 2.4GHz
メモリ：2GB以上
VGA：NVIDIA　GeForce 8600 GT
AMD　ATI Radeon HD3600
Intel G45 Express Chipset
ハードディスク空き容量：30GB以上
解像度：1280 × 1024

※本製品を利用するには、ネットワーク環境が必須となります。

※スカパー!HD、ひかりTV HDのコンテンツをダビングする場合は、Intel Coreiシリーズのスペックが必要です。

ハードウェア仕様

インターフェース：USB3.0／USB2.0
設置方向：水平
外形寸法（幅×奥行き×高さ）：136×142×19
（突起部の除く）
質量：300g（本体のみ）

※LDR-PME8U2Hシリーズは、USB3.0には対応しておりません。

対応ディスクについて

※下記書込み速度には対応した速度のディスクが必要です。

対応ディスク	最大書き込み速度	最大読み込み速度
DVD-RAM ※1	5倍速	5倍速
DVD+R DL 2層	6倍速	8倍速
DVD-R DL 2層	6倍速	8倍速
DVD+R	8倍速	8倍速
DVD-R	8倍速	8倍速
DVD+RW	8倍速	8倍速
DVD-RW	6倍速	8倍速
DVD-ROM	−	8倍速
CD-R	24倍速	24倍速
CD-RW	24倍速	24倍速
CD-ROM	−	24倍速

※1　RAM2ディスクは読込みのみで、書込みはできません。
カートリッジに入ったDVD-RAMディスクはカートリッジから取り出した状態で使用する必要があります。

対応ディスクの種類

対応ディスク	推奨ディスクメーカー
DVD-RAM	日立マクセル株式会社／パナソニック株式会社
DVD+R DL 2層	三菱化学メディア株式会社／株式会社リコー
DVD-R DL 2層	三菱化学メディア株式会社／太陽誘電株式会社／日本ビクター株式会社
DVD+R	TDK株式会社／太陽誘電株式会社／三菱化学メディア株式会社 株式会社リコー／ソニー株式会社
DVD-R	太陽誘電株式会社／TDK株式会社／日立マクセル株式会社 三菱化学メディア株式会社／ソニー株式会社
DVD+RW 8倍速	三菱化学メディア株式会社／株式会社リコー
DVD+RW 4倍速	三菱化学メディア株式会社／株式会社リコー／ソニー株式会社
DVD-RW 6倍速	日本ビクター株式会社／三菱化学メディア株式会社
DVD-RW 4倍速以下	TDK株式会社／日本ビクター株式会社／三菱化学メディア株式会社／パナソニック株式会社
CD-R	ソニー株式会社／太陽誘電株式会社／TDK株式会社／三菱化学メディア株式会社
CD-RW	三菱化学メディア株式会社／株式会社リコー

付属ソフトウェアについて

これらのソフトウェアの使用方法については、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

DIXIM DVD BURNER
DRM contents to DVD via network

DTCP-IP対応のテレビで録画した番組を、本製品にセットしたDVDにダビング／ムーブできます。

Logitec イジェクトコントローラ

パソコン終了時にドライブ内にメディアが残っていた場合、自動的にメディアを排出します。

TotalMedia Extreme™2

以下のソフトが含まれております。
これらのソフトウェアの説明はセットアップガイド②を参照ください。

TotalMedia Theater™5
DVDの再生からBD3Dの再生までできる高機能なプレーヤソフトです。
※再生には、パソコンをインターネットに接続する必要があります。

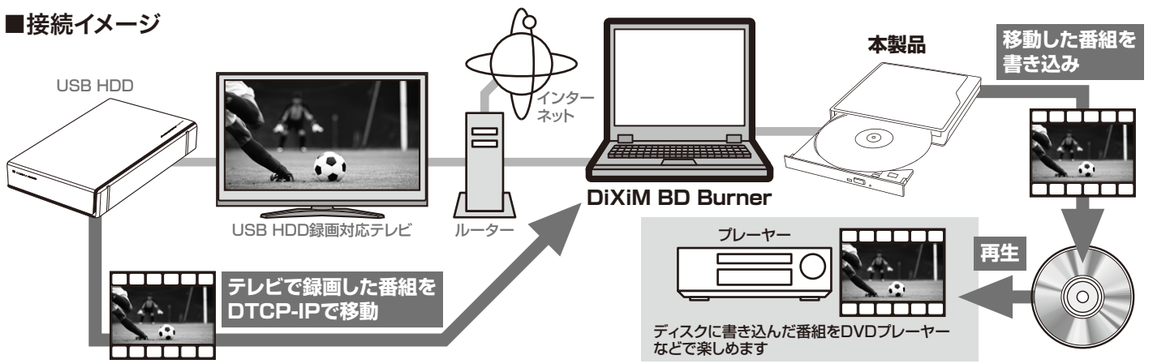
TotalMedia Record™2
大容量BDXLの書き込みから音楽CDの作成まで可能なライティングソフトです。

ShowBiz™5
カメラからキャプチャした動画をトラディションなど加えて動画編集が可能な、編集ソフトです。

DiXiM DVD Burner for Logitec を使ってダビングしてみよう

DiXiM DVD Burner for Logitec（以下 DiXiM DVD Burner）を使って、USB-HDDに録画した番組をディスクにダビングする手順を説明します。DTCP-IP Moveに対応したテレビ、NAS、STBなどから録画した番組をDVDディスクにダビングできます。ダビングするには、以下のような対応機器、テレビ、パソコン、本製品とインターネットに接続されている環境が必要です。

■接続イメージ



※PlayStationは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、PlayStation®3は、同社の商品です。
※本製品ならびに他の機器のイラストは例です。形状や仕様など実際の製品とは異なることがあります。

■対応機器

●SHARP	AQUOS：X5ライン／L5ライン
●maxell	iVハードディスクレコーダー：VDR-R2000／VDR-R2000.G50
●NTTぷらら	ひかりTVリンク対応チューナー：IS1050
●TOSHIBA	REGZA：ZG1シリーズ／Z1シリーズ／F1シリーズ／RE1シリーズ／HE1シリーズ／ZX9500/9000シリーズ／ZS1シリーズ／R1シリーズ／Z9000シリーズ Z8000シリーズ／ZH8000シリーズ／ZX8000シリーズ／Z7000シリーズ／ZH7000シリーズ／ZV500シリーズ／ZH500シリーズ
●HITACHI	Wooo：ZP05シリーズ／XP05シリーズ／XP07シリーズ／XP08シリーズ／GP08シリーズ

STEP① ソフトウェア（DiXiM DVD Burner）のインストールしましょう

1 スタートガイドの「ソフトウェア」をクリックします。

2 DiXiM DVD Burner for Logitec をクリックします。指示に従いインストールします。

3 インストール中に以下メッセージが表示されます。
ここで入力した名前がテレビ等で表示されるダビング先の接続機器名となります。

4 インストール途中で以下のメッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

5 完了するとパソコンの再起動を促すメッセージが表示されますので、パソコンを再起動してインストールは完了です。

STEP② 録画した番組をディスクにダビングしよう

1 接続がすべて完了していること確認して、ディスクを本背品にセットします。

> ! DVDディスクをセットする場合は、CPRM対応のDVDディスクに限ります。

DVDディスクをセットすると以下メッセージが表示される場合があります。「×」をクリックしてください。

2 「スタート」メニューから左図の位置にインストールされていますのでここをクリックします。

3 詳細設定で、書き込み先のドライブ（本製品）を選択します。

4 現在の状態で、フォーマットされていないBDディスクをセットした場合、「書き込み不可能なディスクです」と表示されるので、ここで「フォーマット開始」をクリックします。
「フォーマット開始」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。

> ! DVDディスクをセットした場合は、表示が「サーバーが静止しています」と表示され「フォーマット開始」ボタンも書き込み許可」に変わります。

5 「フォーマットが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックします。
書き込みの準備が出来ると左図表示となります。

6 この状態で、家庭内LAN接続されているテレビ等から録画リストを選択して、本製品へパソコンを経由してダビングします。テレビ等の他の機器へのダビング方法は、各メーカーの操作マニュアルを参照願います。
ダビング先には、先ほどインストール時に入力した名前が表示されます。

7 書き込み中の場合、左図の書き込み状態を選択すると、「ディスクへ書き込み中です」と表示されます。

> ! この状態で危機の電源をOFFしたり、LANケーブルを抜くとダビング中の番組データが失われる恐れがあるので絶対にしないでください。

8 書き込みが完了すると、ログ表示の部分にダビングした番組名が表示され、「結果」の欄に○が表示されます。

以上でダビングは完了です。

STEP③ ダビングしたディスクを再生してみよう

パソコンで再生する場合
添付のTotalMediaExtreme2のTotalMediaTheature5で再生できます。ソフトウェアのヘルプ画面を参照願います。

民生機器で再生する場合
市販のレコーダー/プレーヤで再生できます。操作については各メーカーの操作マニュアルを参照願います。

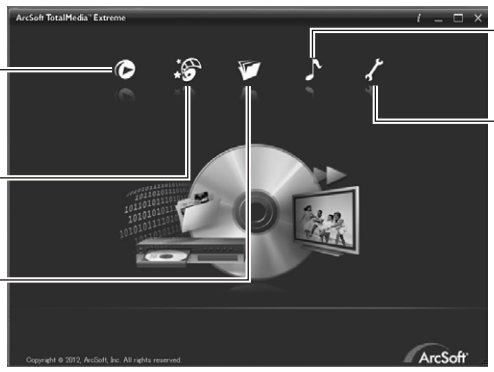
■ 観る･編集･書込みができる統合ソフト「ArcSoft TotalMedia Extreme 2」

スタート→プログラム→TotalMedia Extremeから起動します。

DVDの再生ができます。

カメラからキャプチャした動画をトラディションなど加えて動画編集ができます。

データの書き込みができます。



音楽CDの作成ができます。

ディスクイメージの書き込みや、ディスクの消去ができます。

補足説明

ソフトウェア使用上の注意

・市販されているDVD/ブルーレイのビデオタイトルをバックアップすることはできません。
・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWの各ディスクに対応していないものもあります。ご使用のDVDプレーヤーで本製品にて作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご確認ください。
・DVDディスクにはラベルを貼付しないでください。ディスクの回転バランスが悪くなり、読み込み/書き込み時のトラブルの原因となることがあります。

Mac環境で使用する場合の注意事項

●本製品には、Mac対応のソフトウェアは添付しておりません。別途「Toast 11 Titanium」をご購入ください。

〈制限事項〉

●地デジ録画したディスク(CPRM)は再生できません。
●DVDレコーダーで録画したディスクの編集(VR)はできません。

Windows XPでご使用の場合の注意事項

Windows XPをご使用の場合は、接続とソフトウェアのインストール終了後、DVD-RAMディスクに書き込みを行なうために以下の設定を行ってください。

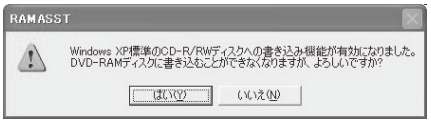
①「スタート」ー「マイコンピュータ」と選択しマイコンピュータを開いてください。

②マイコンピュータから、本製品のアイコンを右クリックして、ドライブのプロパティで、「このドライブでCD書込みを有効にする」のチェックをオフにしてください。

※このチェックをオフにしなければ、DVD-RAMディスクへは書込みできません。

Windows XP標準のCD-R、CD-RWディスクへの書き込み機能を使用する場合

左記オフの状態では、Windows XP標準のCD-R、CD-RWディスクへの書き込み機能は使用できません。CD-R/CD-RWディスクへ書き込みを行なうときは、「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックをオンにしてください。オンにすると以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。

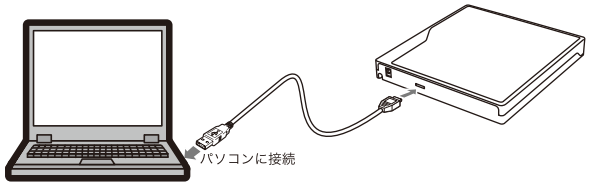


セットアップガイド②
TotalMedia Extreme 2 の 利用方法

STEP① パソコンに接続しましょう

【USBバスパワーを利用する場合】

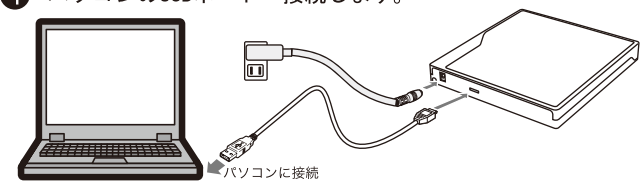
1. 本製品とUSBケーブルを接続します。
2. パソコンのUSBポートと接続します。



【別売りのACアダプタを利用する場合】

別売ACアダプタ
LA-10W5S-08

1. 本製品にACアダプタを接続します。
2. ACアダプターをコンセントへ接続します。
3. USBケーブルを本製品へ接続します。
4. パソコンのUSBポートへ接続します。



パソコンに接続すると、自動的に認識され本製品を使用することができるようになります。この後は必要に応じて添付CD-ROMを挿入し、ソフトウェアをインストールしてください。付属のソフトウェアは、「スタートガイド」内の「ソフトウェア」タブよりインストール可能です。

STEP② ソフトウェアをインストールしましょう

ソフトウェアのインストールは必ず本製品をパソコンへ接続した状態で作業してください。

①ソフトウェアを選んで

②ここをダブルクリック

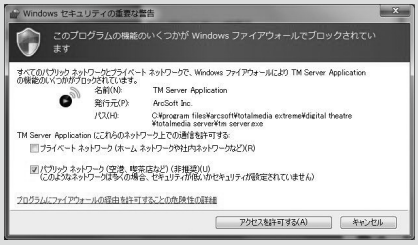
1. 指示に従いインストールを行います。
2. 完了するとパソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。
3. パソコンを再起動してインストールは完了です。

Windows 7の場合「正しくインストールされました」をクリックします。インストール後、パソコンを再起動してください。

デスクトップにアイコンが表示されますので、アイコンをダブルクリックすることで起動できます。

スタートメニューからは以下の位置に設定されていますので、ここをクリックすることで起動できます。

TotalMedia Theater 5 を起動すると、ファイヤーウォールのブロックメッセージが出ますが、「アクセスを許可する」のボタンを選択して下さい。



使用方法はオンラインマニュアルをご参照ください。

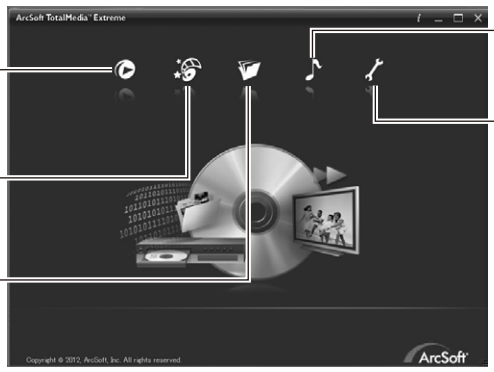
■ 観る･編集･書込みができる統合ソフト「ArcSoft TotalMedia Extreme 2」

スタート→プログラム→TotalMedia Extremeから起動します。

DVDの再生ができます。

カメラからキャプチャした動画をトラディションなど加えて動画編集ができます。

データの書き込みができます。



音楽CDの作成ができます。

ディスクイメージの書き込みや、ディスクの消去ができます。

補足説明

ソフトウェア使用上の注意

・市販されているDVD/ブルーレイのビデオタイトルをバックアップすることはできません。
・市販のDVDプレーヤーの中には、DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWの各ディスクに対応していないものもあります。ご使用のDVDプレーヤーで本製品にて作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご確認ください。
・DVDディスクにはラベルを貼付しないでください。ディスクの回転バランスが悪くなり、読み込み/書き込み時のトラブルの原因となることがあります。

Mac環境で使用する場合の注意事項

●本製品には、Mac対応のソフトウェアは添付しておりません。別途「Toast 11 Titanium」をご購入ください。

〈制限事項〉

●地デジ録画したディスク(CPRM)は再生できません。
●DVDレコーダーで録画したディスクの編集(VR)はできません。

Windows XPでご使用の場合の注意事項

Windows XPをご使用の場合は、接続とソフトウェアのインストール終了後、DVD-RAMディスクに書き込みを行なうために以下の設定を行ってください。

①「スタート」ー「マイコンピュータ」と選択しマイコンピュータを開いてください。

②マイコンピュータから、本製品のアイコンを右クリックして、ドライブのプロパティで、「このドライブでCD書込みを有効にする」のチェックをオフにしてください。

※このチェックをオフにしなければ、DVD-RAMディスクへは書込みできません。

Windows XP標準のCD-R、CD-RWディスクへの書き込み機能を使用する場合

左記オフの状態では、Windows XP標準のCD-R、CD-RWディスクへの書き込み機能は使用できません。CD-R/CD-RWディスクへ書き込みを行なうときは、「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックをオンにしてください。オンにすると以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。